

芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査 調査項目（案）

資料 2

| No. | 質問項目  | 選択肢   | 前回調査<br>(平成28年度) | 国<br>(令和元年度世論調査) | 県<br>(令和元年度県民モニター) |
|-----|---|---|------------------|------------------|--------------------|
| 1   | あなたの性別は。(〇は1つ。ご自身で思われる性別をお答えください。)                        | 1. 女性<br>2. 男性<br>3. 1・2に当てはまらない<br>4. 答えたくない   | あり               | あり               | なし                 |
| 2   | あなたの年齢(令和3年〇月1日現在)は。(〇は1つ)                                | 1. 10歳代・20歳代<br>2. 30歳代<br>3. 40歳代<br>4. 50歳代<br>5. 60歳代<br>6. 70歳代<br>7. 80歳以上   | あり               | あり               | なし                 |
| 3   | あなたの主な職業等は何ですか。(〇は1つ)                                     | 1. 自営業・会社経営<br>2. 正社員・正職員(常勤)<br>3. 派遣社員・契約社員<br>4. パート・アルバイト<br>5. 主婦・主夫<br>6. 学生<br>7. 無職(5及び6を除く)<br>8. その他(具体的に )                     | あり               | あり               | なし                 |
| 4   | あなたは結婚していますか。(〇は1つ)※事実婚や同性婚を含みません。                        | 1. 結婚していない<br>2. 既婚, 配偶者あり<br>3. 結婚後, 離別又は死別  | あり               | あり               | なし                 |
| 5   | あなたの配偶者・パートナーの職業等は何ですか。(〇は1つ)                             | 1. 自営業・会社経営<br>2. 正社員・正職員(常勤)<br>3. 派遣社員・契約社員<br>4. パート・アルバイト<br>5. 主婦・主夫<br>6. 学生<br>7. 無職(5及び6を除く)<br>8. その他(具体的に )<br>9. 配偶者・パートナーはいない | あり               | なし               | なし                 |
| 6   | あなたにはお子さんがおられますか。(〇は1つ)※事実婚や同性婚のパートナーのお子さんを含みません。別居も含みます。 | 1. いる<br>2. いない   | あり               | あり               | なし                 |
| 7   | 一番下のお子さんは次のどれにあたりますか。(〇は1つ)                               | 1. 就学前<br>2. 小学生<br>3. 中学生・高校生<br>4. 短大, 大学, 大学院, 専修学校などの学生又は浪人生<br>5. 学校を終えた   | あり               | なし               | なし                 |

| No. | 質問項目                                      | 選択肢   | 前回調査<br>(平成28年度) | 国<br>(令和元年度世論調査) | 県<br>(令和元年度県民モニター) |
|-----|---|---|------------------|------------------|--------------------|
| 8   | あなたの同居の家族構成は。(○は1つ) ※夫婦は事実婚や同性婚を含みません。    | 1. 単身世帯（ひとり暮らし）<br>2. 一世帯世帯（夫婦、兄弟、姉妹だけなど）<br>3. 二世帯世帯（親と子など）<br>4. 三世帯世帯（親と子と孫など）<br>5. その他の世帯（具体的に ）               | あり               | なし               | なし                 |
| 9   | あなたは、今からあげる分野において男女が平等になっていると思いますか。(○は1つ) | 調査票への記入方法は、前回調査と同じ方法  | あり               | あり               | あり                 |
| 9-1 | 家庭生活                                      | 1. 男性の方が非常に優遇されている<br>2. どちらかといえば男性の方が優遇されている<br>3. 平等<br>4. どちらかといえば女性の方が優遇されている<br>5. 女性の方が非常に優遇されている<br>6. わからない | あり               | あり               | あり                 |
| 9-2 | 職場  | 1. 男性の方が非常に優遇されている<br>2. どちらかといえば男性の方が優遇されている<br>3. 平等<br>4. どちらかといえば女性の方が優遇されている<br>5. 女性の方が非常に優遇されている<br>6. わからない | あり               | あり               | あり                 |
| 9-3 | 学校教育の場                                    | 1. 男性の方が非常に優遇されている<br>2. どちらかといえば男性の方が優遇されている<br>3. 平等<br>4. どちらかといえば女性の方が優遇されている<br>5. 女性の方が非常に優遇されている<br>6. わからない | あり               | あり               | あり                 |
| 9-4 | 政治の場                                      | 1. 男性の方が非常に優遇されている<br>2. どちらかといえば男性の方が優遇されている<br>3. 平等<br>4. どちらかといえば女性の方が優遇されている<br>5. 女性の方が非常に優遇されている<br>6. わからない | あり               | あり               | あり                 |
| 9-5 | 法律や制度の上で                                  | 1. 男性の方が非常に優遇されている<br>2. どちらかといえば男性の方が優遇されている<br>3. 平等<br>4. どちらかといえば女性の方が優遇されている<br>5. 女性の方が非常に優遇されている<br>6. わからない | あり               | あり               | あり                 |

| No.  | 質問項目  | 選択肢  | 前回調査<br>(平成28年度) | 国<br>(令和元年度世論調査) | 県<br>(令和元年度県民モニター) |
|------|---|--|------------------|------------------|--------------------|
| 9-6  | 社会通念・慣習・しきたりなど  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男性の方が非常に優遇されている</li> <li>2. どちらかといえば男性の方が優遇されている</li> <li>3. 平等</li> <li>4. どちらかといえば女性の方が優遇されている</li> <li>5. 女性の方が非常に優遇されている</li> <li>6. わからない</li> </ol>  | あり               | あり               | あり                 |
| 9-7  | 自治会やPTAなどの地域活動の場  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男性の方が非常に優遇されている</li> <li>2. どちらかといえば男性の方が優遇されている</li> <li>3. 平等</li> <li>4. どちらかといえば女性の方が優遇されている</li> <li>5. 女性の方が非常に優遇されている</li> <li>6. わからない</li> </ol>  | あり               | あり               | あり                 |
| 9-8  | 社会全体  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男性の方が非常に優遇されている</li> <li>2. どちらかといえば男性の方が優遇されている</li> <li>3. 平等</li> <li>4. どちらかといえば女性の方が優遇されている</li> <li>5. 女性の方が非常に優遇されている</li> <li>6. わからない</li> </ol>  | あり               | あり               | なし                 |
| 10   | あなたは、「夫が外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。（〇は1つ） | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 賛成</li> <li>2. どちらかといえば賛成</li> <li>3. どちらかといえば反対</li> <li>4. 反対</li> <li>5. わからない</li> </ol>   | あり               | あり               | なし                 |
| 10-1 | （賛成、どちらかといえば賛成）それはなぜですか。（〇はいくつでも）                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから</li> <li>2. 自分の両親も役割分担をしていたから</li> <li>3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから</li> <li>4. 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから</li> <li>5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから</li> <li>6. その他</li> <li>7. 特になし</li> <li>8. わからない</li> </ol>                                     | なし               | あり               | なし                 |
| 10-2 | （反対、どちらかといえば反対）それはなぜですか。（〇はいくつでも）                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男女平等に反すると思うから</li> <li>2. 自分の両親も外で働いていたから</li> <li>3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから</li> <li>4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから</li> <li>5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから</li> <li>6. 夫と妻の固定的な役割分担の意識を押しつけるべきではないから</li> <li>7. その他</li> <li>8. 特になし</li> <li>9. わからない</li> </ol> | なし               | あり               | なし                 |

| No.  | 質問項目  | 選択肢   | 前回調査<br>(平成28年度) | 国<br>(令和元年度世論調査) | 県<br>(令和元年度県民モニター) |
|------|---|---|------------------|------------------|--------------------|
| 11   | あなたは育児、介護などの家庭で担われている役割について、あなたと配偶者でどのように分担したいですか。育児、介護などを行っている、していない関わらず、保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用を含め、最も近いものをお答えください。（〇は1つ）※配偶者のいない方は、配偶者がいることを想定してお答えください。 | 問9と同じ設問の仕方  | なし               | あり               | なし                 |
| 11-1 | 育児  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分と配偶者で半分ずつ分担（外部サービスは利用しない）</li> <li>2. 自分の方が配偶者より多く分担（外部サービスは利用しない）</li> <li>3. 配偶者の方が自分より多く分担（外部サービスは利用しない）</li> <li>4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担</li> <li>5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担</li> <li>6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担</li> <li>7. その他</li> <li>8. わからない</li> </ol> | なし               | あり               | なし                 |
| 11-2 | 介護  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分と配偶者で半分ずつ分担（外部サービスは利用しない）</li> <li>2. 自分の方が配偶者より多く分担（外部サービスは利用しない）</li> <li>3. 配偶者の方が自分より多く分担（外部サービスは利用しない）</li> <li>4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担</li> <li>5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担</li> <li>6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担</li> <li>7. その他</li> <li>8. わからない</li> </ol> | なし               | あり               | なし                 |
| 11-3 | 育児・介護以外の家事  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分と配偶者で半分ずつ分担（外部サービスは利用しない）</li> <li>2. 自分の方が配偶者より多く分担（外部サービスは利用しない）</li> <li>3. 配偶者の方が自分より多く分担（外部サービスは利用しない）</li> <li>4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担</li> <li>5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担</li> <li>6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担</li> <li>7. その他</li> <li>8. わからない</li> </ol> | なし               | あり               | なし                 |

## 芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査 調査項目（案）

| No. | 質問項目  | 選択肢  | 前回調査<br>(平成28年度)       | 国<br>(令和元年度世論調査)              | 県<br>(令和元年度県民モニター)     |
|-----|---|--|------------------------|-------------------------------|------------------------|
| 12  | 男性が積極的に家事・子育て・介護・地域活動などへ関わるための課題は何だと思いますか？（〇はいくつでも）   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男性自身の抵抗感</li> <li>2. 女性の抵抗感</li> <li>3. 夫婦や家族間のコミュニケーション不足</li> <li>4. 男性が関わることに對する当事者以外の偏見，理解や配慮の無さ</li> <li>5. 長時間労働などを原因とした関わる時間の少なさ</li> <li>6. 男性の能力が低い</li> <li>7. 男性同士のネットワークが少ない</li> <li>8. 関わり方が分からない（情報が無い）</li> <li>9. 積極的に関わる必要はない（課題はない）</li> <li>10. わからない</li> <li>11. その他（ ）</li> </ol>   | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。        | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 |
| 13  | あなたは過去5年間に、配偶者やパートナーがいましたか？（〇は1つ）※配偶者には婚姻届を出していない事実婚や同性婚，別居中の夫婦，元配偶者（離別・死別した相手，事実婚・同性婚を解消した相手）も含まれます。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. いる（いた）</li> <li>2. いない（いなかった）</li> </ol>   | あり                     | あり<br>（平成29年度男女間における暴力に関する調査） | なし                     |
| 14  | （13でいる（いた）と回答した方のみ）あなたは過去5年間に、配偶者やパートナーから暴力を受けたことがありますか。  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 命の危険を感じるくらいの暴力を受けた</li> <li>2. 医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた</li> <li>3. 医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けた</li> <li>4. 大声でとられたり，ことばによる暴力をあげられた</li> <li>5. 生活費を渡してくれなかった</li> <li>6. 交友関係や電話・メールを細かく監視された</li> <li>7. 危害が加えられるのではと恐怖を感じるほどの脅しを受けた</li> <li>8. 何を言っても無視され続けた</li> <li>9. あなたがいやがっているのに性的な行為を強要された</li> </ol> <p>1～9について、「何度もあった」「1,2度あった」「まったくない」で選択</p>                      | あり                     | あり<br>（平成29年度男女間における暴力に関する調査） | なし                     |
| 15  | （14で1つでも「何どもあった」「1,2度あった」と回答した方のみ）あなたはこれまでに、だれかに打ち明けたり，相談したりしましたか。（〇はいくつでも）                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 配偶者暴力相談支援センター（DV相談室，婦人相談所その他施設）</li> <li>2. 警察</li> <li>3. 法務局・地方法務局，人権擁護委員</li> <li>4. 男女共同参画センター</li> <li>5. 1～4以外の公的な機関</li> <li>6. 民間の専門家や専門機関（弁護士，カウンセラー，民間シェルターなど）</li> <li>7. 医療関係者（医師，看護師など）</li> <li>8. 学校関係者（教員，養護教員，スクールカウンセラーなど）</li> <li>9. 職場関係者（上司，同僚，部下など）</li> <li>10. 家族や親族</li> <li>11. 友人・知人</li> <li>12. その他（ ）</li> <li>13. どこにも相談しなかった</li> </ol> | あり                     | あり<br>（平成29年度男女間における暴力に関する調査） | なし                     |

## 芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査 調査項目（案）

| No. | 質問項目  | 選択肢  | 前回調査<br>(平成28年度)       | 国<br>(令和元年度世論調査)              | 県<br>(令和元年度県民モニター)     |
|-----|---|--|------------------------|-------------------------------|------------------------|
| 16  | (15でどこにも相談しなかった方のみ)どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)  | <ol style="list-style-type: none"> <li>どこに(だれに)相談したらよいかわからなかった</li> <li>相談しても無駄だと思った</li> <li>相談したことがわかるとし返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思った</li> <li>自分さえ我慢したら、なんとかこのままやっていけると思った</li> <li>世間体が悪いと思った</li> <li>他人を巻き込みたくなかった</li> <li>そのことについて思い出しにくくなった</li> <li>自分にも悪いところがあると思った</li> <li>相手の行為は愛情の表現だと思った</li> <li>相談するほどのことではないと思った</li> <li>だれにも話す気持ちになれなかった</li> <li>その他(具体的に )</li> </ol>  | あり                     | あり<br>(平成29年度男女間における暴力に関する調査) | なし                     |
| 17  | 女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか(〇は1つ)  | <ol style="list-style-type: none"> <li>女性は職業をもたないほうがよい</li> <li>結婚するまで職業をもち、結婚とともに辞めるほうがよい</li> <li>結婚しても職業を持ち続け、子どもができたなら辞めるほうがよい</li> <li>結婚しても職業をもち続け、子どもができたなら辞めて、大きくなったら再び職業をもつのがよい</li> <li>結婚や出産、子育てにかかわらず、職業をもち続けるのがよい</li> <li>その他(具体的に )</li> <li>わからない</li> </ol>   | あり                     | あり                            | なし                     |
| 18  | 女性が活躍できる仕事・職場環境にするための課題は何だと思いますか?(〇はいくつでも)  | <ol style="list-style-type: none"> <li>職場のトップが女性登用に対して積極的でない</li> <li>上司や同僚の理解がない</li> <li>育児や介護の両立支援制度の不足</li> <li>長時間労働</li> <li>勤務時間の柔軟性がない</li> <li>仕事の適正な評価がされていない</li> <li>仕事内容にやりがいがない</li> <li>身近に活躍している女性(ロールモデル)がいない</li> <li>特に課題はない</li> <li>わからない</li> <li>その他( )</li> </ol>  | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 | なし                            | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 |
| 19  | (1で「1. 女性」と回答した方のみお答えください)<br>女性が出産や介護などにより離職をしないで働き続けるために必要な、家庭・社会・職場での取り組みについて、あなたはどのように感じていますか。(〇はいくつでも) | <ol style="list-style-type: none"> <li>保育所や学童保育など、子どもを預けられる環境が整ってほしい</li> <li>介護支援サービスが充実してほしい</li> <li>家事・育児支援サービスが充実してほしい</li> <li>男性の家事参加への理解、意識改革が進んでほしい</li> <li>女性が働き続けることへの周囲の理解、意識改革が進んでほしい</li> <li>働き続けることへの女性自身の意識改革が進んでほしい</li> <li>男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革が進んでほしい</li> <li>職場における育児・介護との両立支援制度の充実が進んでほしい</li> <li>短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入が進んでほしい</li> <li>育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いを禁止すべきだ</li> <li>女性が出産や介護などにより離職をしないで働き続けるための取り組みは必要ない</li> <li>その他(具体的に )</li> </ol> | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 | なし                            | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 |

## 芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査 調査項目（案）

| No. | 質問項目   | 選択肢   | 前回調査<br>(平成28年度) | 国<br>(令和元年度世論調査)       | 県<br>(令和元年度県民モニター)     |
|-----|--|---|------------------|------------------------|------------------------|
| 20  | 芦屋市の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて、次の言葉や内容を知っていますか。                                   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 芦屋市男女共同参画推進条例</li> <li>2. 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや</li> <li>3. 男女共同参画週間記念事業</li> <li>4. 芦屋市男女共同参画センター通信「ウィザス」</li> <li>5. 女性相談（心の悩み、家事、法律、女性活躍）</li> <li>6. 芦屋市DV相談室（芦屋市配偶者暴力相談支援センター）</li> <li>7. ASHIYA RESUME（芦屋リジューム）</li> </ol> <p>1～7について「言葉も内容も知っている」「言葉を聞いたことがある」「知らない」から1つ</p>  | あり               | なし                     | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 |
| 21  | 男女共同参画に関する次の「ことから」について、見たり聞いたりしたことはありますか。（〇はいくつでも）                             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男女共同参画社会基本法</li> <li>2. 男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）</li> <li>3. DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）</li> <li>4. ストーカー規制法（ストーカー行為等の規制等に関する法律）</li> <li>5. 女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）</li> <li>6. 女子差別撤廃条約</li> <li>7. ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）</li> <li>8. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）</li> <li>9. デートDV（交際相手からの暴力）</li> <li>10. 無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）</li> <li>11. 見たり聞いたりしたものはない</li> </ol>  | あり               | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 |
| 22  | 男女共同参画社会（あらゆる分野で男女がさらに対等な社会）を実現するために、今後、行政が力を入れる重要なことはどのようなことだと思いますか。（〇はいくつでも） | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法律や制度の面で見直しを行う</li> <li>2. 国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する</li> <li>3. 民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する</li> <li>4. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する</li> <li>5. 従来、女性が少なかった分野（研究者など）への女性の進出を支援する</li> <li>6. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する</li> <li>7. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する</li> <li>8. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める</li> <li>9. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する</li> <li>10. 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する</li> <li>11. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする</li> <li>12. 女性に対する暴力を根絶するための取組を進める</li> <li>13. その他</li> <li>14. 特になし</li> <li>15. わからない</li> </ol> | あり               | あり                     | あり<br>※質問項目や選択肢に違いはある。 |
| 23  | 自由記述   |   | あり               | なし                     | なし                     |